

2025 年 12 月 昭和鯨城会会報 120 号

昭和こいよう会便り



第 23 回趣味の作品展を終えて

会長 高島 善行

10 月 28 日(火)から 30 日(木)まで、名古屋市市政資料館 3 階第 3～第 5 一般展示室で昭和鯨城会会員の趣味の作品展を開催しました。日頃は見ることのできない会員の趣味や特技を毎年この時期に披露しています。今年は 36 名の方に出演していただき、その力作 74 点を展示しました。(昨年度 34 名 78 点)

また、来場者への記念品として、今年も 28 期女性会員 10 名にナイロン袋入れを 150 個作成していただき、希望者に配布して好評を博することができました。来場者は、初日 64 名、2 日目 56 名、最終日 72 名の合計 192 名でした。昨年は朝ドラ「虎に翼」の影響があり、資料館を訪れる観光客が多く、来場者数が 200 名を超えましたが、今年はその影響がない割には多くの方に見ていただき、盛況のうちに終わることができました。作品を出展していただいた会員の皆さんに感謝いたします。また、期間中、展示・受付・接待・撤収等にご協力くださった方に感謝するとともに、当会会員および他鯨城会会員の皆さん方に多数ご来場いただき、誠にありがとうございました。

第 23 回 趣味の作品展

開催期間 令和7年10月28日(火)～30日(木)
 開催場所 名古屋市市政資料館3階 第3・4・5一般展示室
 出展者数 36名、作品数 74点、来場者数 192人

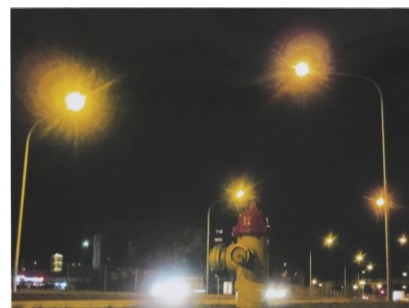
写
真



釧路の夜

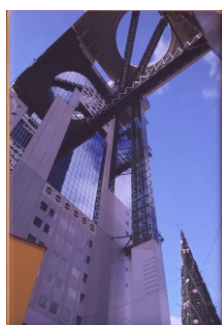


能登見附島



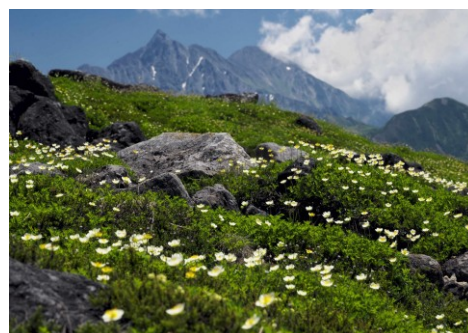
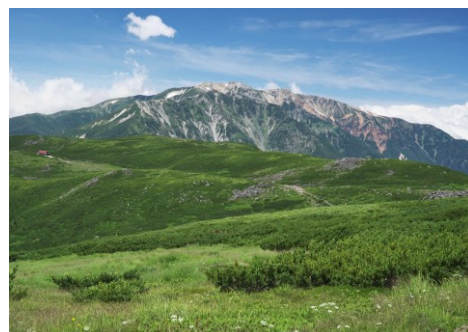
レイキャビックの夜

32期 水野 晃



梅田スカイビル シダローズ

26期 藤田 保志



(上) 到着！雲の平
 (下) チングルマ全開
 32期 伏屋 満

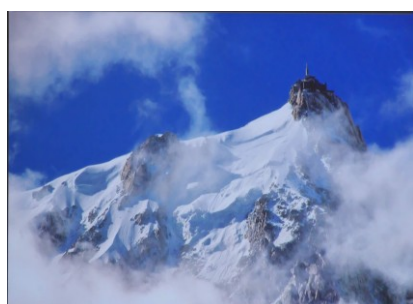


野田白菊(藤)

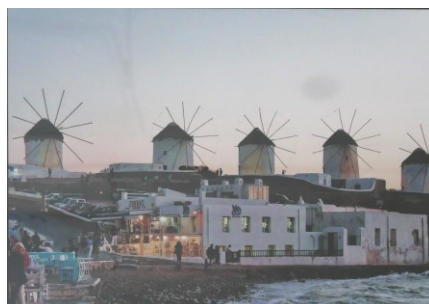
31期 小川 賢雄



枝垂れ桜



エギュー・デュ・ミテイ



島の風車の夕暮れ

28期 黒尾 純一

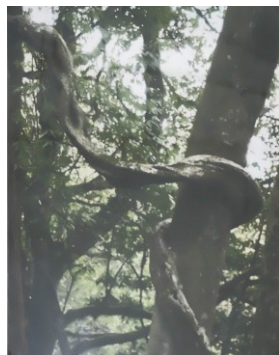


サクレ・クール in Summer



紅(くれない)

29期 阪本 勝



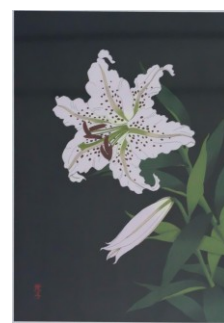
大蛇 ?

パソコンペイント画



椿と小鳥

27期 高島 光子



山百合

水彩画



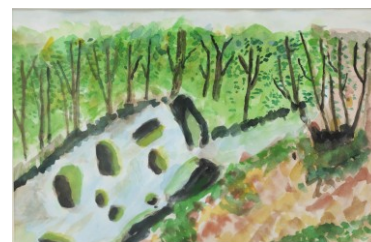
庭の隅

28期 榊原 寿々子



御手水

28期 大河内 早苗



森の溪流

26期 稲垣 幸男

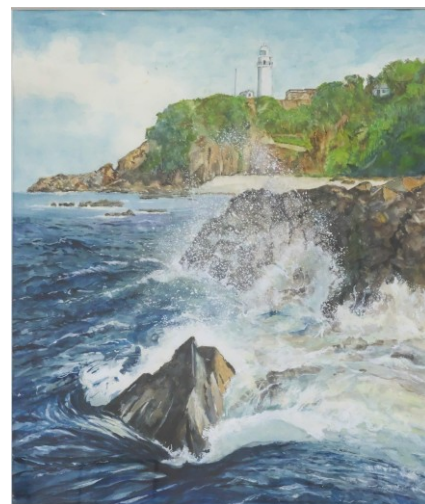


無人駅



飛騨街道

33期 中村 誠司



潮岬



作品 K-007

28期 高橋 正子



黄泉(よみ)の石段



静物

33期 早瀬 芳二



たそがれの街



尾瀬



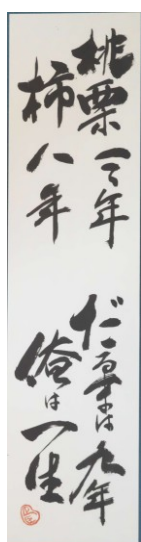
高野山

31 期 杉江 恵理子

書



山紫水明
26 期
稲垣 幸男



桃栗三年
31 期 近藤 正臣



不撓不屈
正臣



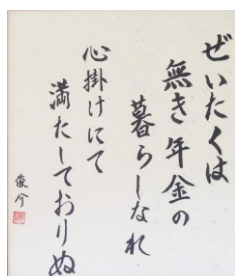
優哉游哉
37 期 梶原 榮江



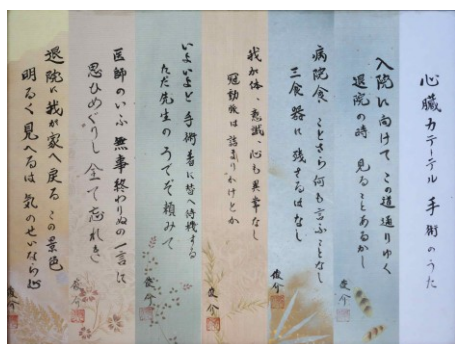
百人一首(小野小町)



遊書(欲深な人の心)



短歌 A



短歌 B



短歌②
38 期 吉川 緑



短歌①

26 期 大野 俊介

ドライフラワー



くるみのリース
32 期 後藤 恵津代



リース



スワッグ①



スワッグ②

38 期 木下 ますみ

陶 芸



切り込み丸鉢

24 期 亀井 栄子



角皿



(奥) カレー皿、(手前) 花器 A、B
31 期 小川 賢雄



絵付けの土鈴たちと素焼きの土鈴たち
37 期 梶原 榮江



クリスマスツリー
27 期 松永 文子



(奥) 花瓶①②、(手前) 小皿5枚
31 期 近藤 正臣

東京木目込み人形



舞

28 期 佐藤 富士子

折 り 紙



キューブとポチ袋
32 期 服部 三津江



鶴のいろいろ
27 期 横田 寿子

手
工
芸



袋物①～③
32 期
小川由美子

手工芸



カエルのウタ
28期 石黒 良江



(上)ナイロン袋入れ
(来場者への記念品)
(下) くつ下人形
28期女性10名
石黒良江、伊東和世、
大河内早苗、加藤春子
近藤テル子、榊原寿々子
佐藤富士子、高橋正子、
長谷川みや子、原田千里

映像作品＋ファイル類



国宝出土品のあるミュージアム;31期 細野 博行
行事レポートビデオ ぬくもりの森を訪ねて
;38期 岩井 芳隆
俳句夏秋;38期 岩井 君代



思い出のアルバム(第3展示室)

会場風景



入口



休憩場所（第3展示室）



第5展示室



第4展示室



関係者一同

ボランティア報告

あそびの広場

33期（生活 A） 御器所 片岡 晴彦

「あそびの広場」は、昭和区社会福祉協議会の一組織である昭和区ボランティア連絡協議会が主催するお祭りイベントで、主に昭和区の幼稚園や保育園の園児を対象に行われています。会場は昭和区役所の講堂で、去年は台風接近のため中止となりましたが、今年は2年ぶりに9月7日(日)に開催されました。



開会



ハンドベルコンサート

ハンドベルやバルーンアートの「ステージショー」、うちわやレインコートを作る「ものづくり広場」、釣り堀や子育て相談の「赤ちゃん・幼児の広場」、そして「保育園児の絵画展示」など、多彩な企画が行われました。

昭和鯉城会は毎年「ものづくり広場」で、土鈴の絵付け教室を担当しています。園児たちは会員手作りの



モルック

の素焼きの土鈴をひとつ選び、アクリル絵具で自由に色を塗っていきます。今年は乾燥工程を省略し、完成後はビニール袋に入れてそのままお持ち帰りいただきました。絵付け教室参加者は30組の親子。素朴な土鈴が、子どもたちの感性で色鮮やかに仕上がり、私たちにとっても嬉しい時間となりました。

さらに今年は新たな試みとして「モルック体験」も昭和鯉城会担当者が中心となって行いました。モルックはフィンランド生まれのスポーツ



絵付け会場風景



絵付け作業



鯉城会員参加者(後列)

で、ボウリングとダーツの中間のような、誰でも楽しめるゲームです。多くの方が初めての体験でしたが、投げ棒を投げては歓声が上がり、会場は大いに盛り上がりました。



使用された土鈴

行事レポート

陸上自衛隊守山駐屯地見学

32 期 （文化A） 広路 山崎 浩一

9月11日（木曜日）曇り空の下、大曽根駅に会員20名が集合し、名鉄瀬戸電に乗り継ぎ、陸上自衛隊守山駐屯地に向かった。入門後、中部方面隊第10師団広報担当南山さんの案内により司令部庁舎会議室に移動した。会議室では同じく広報担当藤城さんの説明とビデオも交え、自衛隊の活動について概略の説明があった。特に所属の第10音楽隊の活動について詳細な紹介があった。印象に残ったのは、最近、災害派遣が多いこと、18歳から32歳



正門



自衛隊活動説明

まで入隊可能にもかかわらず、人手不足の現状であり、自衛隊の置かれた大変さを実感したことであった。



パジェロにて構内見学



74式戦車

その後、明治30年に建てられた資料館にて展示品（旧軍関係資料）の見学、隣接する広場にて60式戦車、74式戦車、FH70榴弾砲の見学をした。特に、74式戦車は内部に入ることができ、貴重な体験ができた。兵器の見学と同時に、基地内を自衛隊仕様の三菱製パジェロにて構内一周の案内をしていただいた。守山駐屯地は、500m×240mの敷地に約1500名の隊員（女性は、120名）が勤務しており、車両660両を保有しているとのことであったが、都市部にあるためかなり手狭な印象を受けた。なお、建物および車両には名古屋に因んだシャチホコや金鯱マークを至る所で見ることができた。



昼食風景

昼食は、隊員と同じ職員食堂で体験喫食をした。食事は、予め決められた時間内で終わらせるよう指示があり、自衛隊らしさを実感した。メニューは、キンメダイの煮つけに栗ご飯、デザート等豊富であり、非常においしく頂くことができた。

食事後、厚生センターにて自衛隊グッズの購入の時間を兼ねて休息をとった。それぞれの会場には徒歩で移動したため、少々疲れを覚えたが、自衛隊の活動に少しでも触れることができ、理解を深める貴重な機会であった。最後に、今回の見学にご協力いただいた守山駐屯地の皆様に心より感謝申し上げます。



記念写真

ボランティア報告

令和7年度昭和区区民まつり参加報告

38 期 （音楽B） 滝川 岩井 君代

令和7年10月26日（日）、鶴舞公園において、「昭和区区民まつり」が盛大に開催されました。予報通り、当日は朝からあいにくの雨に見舞われましたが、昭和鯉城会からは、総勢15名のスタッフが参加し、「土鈴の絵付け体験」と、「陶芸作品の販売」を運営しました。

素焼きの土鈴に自由に色を塗る「絵付け体験」は多くの来場者の注目を集め、心配された雨にもかかわらず、ブースは開場直後から大盛況となりました。親子連れを中心に、次々と来場者が訪れ、常に満席の状態が続き、特に子どもたちの熱中ぶりは目覚ましいものがありました。用意された様々な色彩の絵の具を使い、真剣な眼差しで思い思いの土鈴を仕上げていく姿は、創作の喜びにあふれていました。



祭り会場正面



昭和鯉城会ブース



絵付け体験風景

最終的に当初の予想を遥かに上回る、なんと97個もの土鈴を販売することができ、大成功を収めることができました。

又「陶芸作品の販売」コーナーにも、多くの方が足を止めてくださいました。会員のユニークな手作陶芸作品が並びまし



絵付け

た。来場者の方々は、作品を手に取り、その手触りや色合いに興味深そうにご覧になり、作者との会話を楽しまれる姿も見られました。雨天という厳しいコンディションにもかかわらず、「楽しかった」「いい思い出になった」という声を多数いただき、私達も心から嬉しく思いました。お立ち寄り頂きましたすべての区民の皆様に、スタッフ一同心より感謝申し上げます。



陶芸作品の販売



記念写真

鯨城会活動

第8回鯨城会16区フェスティバル

38期（音楽A） 広路 吉川 緑

令和7年11月17日 第8回鯨城会16区フェスティバルが東スポーツセンターで開催されました。当日は天候にも恵まれ全参加者500余名、昭和鯨城会25名で幕開けをしました。

始めに主催者の鯨城会から開会宣言、会長挨拶、鯨城学園副学長に来賓挨拶をいただいた後、選手宣言が行われました。その後、準備体操、競技のルール説明がなされ競技に入りました。



鯨城会会長挨拶



〇×クイズ

最初のゲームは「〇×」クイズ 2問目の名古屋市内の公園の占有面積の問題では多くの不正解者が出ました。2番目の競技は「ボッチャ」昭和区はここで大きく得点を伸ばしその後昼食、休憩に入りました。この時間帯には各区の応援合戦が華々しく披露されました。

午後からは3番目の「龍の玉送り」が行われチームで力を合わせ楽しく行うことができました。その後の4番目の「玉入れ」は籠が思いのほか高く玉はなかなか入りませんでした。

最後に宮本豊斎珠先生(鯨城会 OB 民謡クラブ顧問)をお迎えし、民謡クラブの人を中心に「郡上踊り」「ダンシングヒーロー」等を小太鼓に合わせ軽快に楽しく踊りました。



ボッチャ



龍の玉送り



玉入れ

その後閉会式、成績発表があり我が昭和区は総合で3位となりました。表彰は会長の高島氏が受領しました。参加者の皆様お疲れさまでした。

今回のフェスティバルは38期の私にとって初めての参加となり鯨城会の方々と楽しく貴重な体験を経験することが

できました。また今年卒業を共にした38期の人たちとも再会をし元気な姿を目にすることもできました。

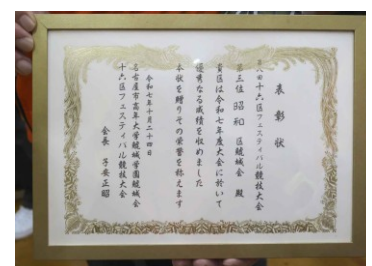
来年のフェスティバルも楽しく取り組めることを願っています。



民謡踊り



記念写真



3位表彰状

ボランティア報告

名古屋クリーンパートナー功労表彰

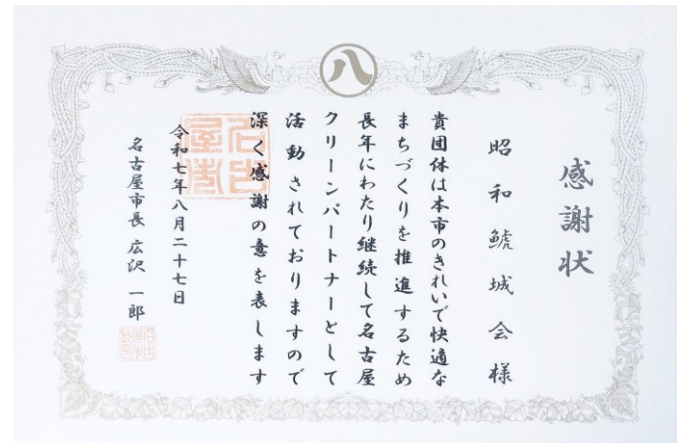
33期（生活A） 御器所 片岡 晴彦

8月27日、名古屋市から名古屋クリーンパートナーの功労が認められ、昭和鯉城会が表彰されました。

名古屋クリーンパートナー制度とは、平成15年から始まった市とボランティアグループが協力して街の美化活動を進めるプログラムで、現在名古屋市全体で69団体が登録して継続的な美化活動に取り組んでおり、昭和鯉城会も当初から参加しています。

また表彰制度は今年設けられ、24団体が表彰を受けました。昭和区では2団体で昭和鯉城会はその1つでした。

昭和鯉城会の「クリーンパートナー」



クリーンパートナー活動風景

活動は、毎月1回（原則として第3水曜日）、御器所交差点から東郊通2丁目交差点の間で美化活動を実施しています。

編集後記

120号は、例年どおりの作品展をメインで作成しました。

今年は、夏～秋の他の主要行事である「あそびの広場」や「昭和区区民まつり」も予定どおり実施できましたが、いずれも10月の後半に集中したため、「昭和こじょう会便り」編集も最後バタつきました。

今後も昭和鯉城会への積極的な参加とともに、様々な投稿をお願いします。

昭和鯉城会 「昭和こじょう会便り」 2025年12月120号

発行責任者 高島 善行

広報委員長 伏屋 満 副委員長 中村 誠司

広報委員 杉江 恵理子、桐山 宏之、岩井 芳隆、吉川 緑

表紙写真 「第23回趣味の作品展」会場風景

(2025年10月28～30日、於；撮影名古屋市市政資料館)

名古屋市高年大学昭和区鯉城会・名古屋市鯉城学園共同発行